

2022年10月の天候

令和4年11月8日
盛岡地方气象台

この資料内のデータは速報値です。
後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

《 特 徴 》

【上旬の多雨、寡照】【下旬の低温】

1 天候経過

〈天候の特徴〉

気圧の谷や前線、低気圧の影響で雨の日もあったが、高気圧に覆われ晴れの日が多かった。また、気温の変動が大きく、上旬後半と下旬の中頃に強い寒気が流れ込んだため気温の低い日があった。

岩手山の初冠雪を6日に観測した。平年より7日早く、昨年より11日早い。初霜を19日に観測した。平年より7日早く、昨年より3日早い。初氷を25日に観測した。平年より6日早く、昨年より24日早い。

月平均気温は概ね平年並から低い。月降水量は平年並から少なく、かなり少ない所もあった。月間日照時間は概ね平年並から少なかった。

上旬： 前半を中心に高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、中頃からは低気圧や前線、気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、概ね低いから平年並。旬降水量は、多く、内陸部を中心に平年並の所があった。旬間日照時間は、少ない。

中旬： 気圧の谷や湿った空気、前線通過の影響で雨となった所もあったが、高気圧に覆われて晴れや曇りとなる日が多かった。

旬平均気温は、平年並から高かった。旬降水量は、内陸北部で平年並の所があった他は少なく、南部でかなり少ない所があった。旬間日照時間は、内陸で少ない所があった他は平年並。

下旬： 前線の通過や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。また、高気圧に覆われ、寒気や放射冷却により冷え込む日が多く、旬平均気温が低くなった。

旬平均気温は、内陸は低いからかなり低い。沿岸は平年並から低い。旬降水量は、沿岸北部で概ね平年並だった他は、少ないからかなり少なかった。旬間日照時間は、南部でかなり多かった所があった他は平年並から多く、沿岸部で少ない所があった。

○盛岡、宮古、大船渡の旬及び月統計値

地点\要素	平均気温	平年差	階級区分	降水量	平年比	階級区分	日照時間	平年比	階級区分	
盛岡	上旬	14.6	-0.3	平年並	62.5	142	多い	30.3	70	少ない
	中旬	13.1	0.4	平年並	6.0	19	少ない	48.6	99	平年並
	下旬	9.6	-1.0	低い	10.5	32	少ない	55.1	113	平年並
	月	12.3	-0.3	平年並	79.0	73	平年並	134.0	95	少ない
宮古	上旬	15.4	-0.2	平年並	108.0	159	多い	31.9	71	少ない
	中旬	14.1	0.4	高い	0.5	1	少ない	50.6	97	平年並
	下旬	10.9	-0.9	低い	7.0	15	少ない	45.2	85	少ない
	月	13.4	-0.2	平年並	115.5	70	平年並	127.7	85	少ない
大船渡	上旬	16.1	-0.3	平年並	114.0	185	多い	31.6	77	少ない
	中旬	14.8	0.4	平年並	0.0	0	かなり少ない	42.7	94	平年並
	下旬	11.8	-0.8	低い	1.0	2	かなり少ない	57.6	114	多い
	月	14.1	-0.3	平年並	115.0	71	平年並	131.9	96	平年並

<単位 気温:℃ 降水量:mm 日照時間:h 平年差(比):℃(%)> 平年値:1991~2020年の平均値

2 日別の気圧配置

- 1日：本州付近は日本海に停滞する高気圧に覆われる。
- 2日：日本付近は日本海に停滞する高気圧やオホーツク海南部の高気圧に覆われる。
- 3日：高気圧は千島の東に移動し、北日本は気圧の谷となる。
- 4日：オホーツク海の低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。
- 5日：前線が日本の東から本州南岸にのびる。一方、大陸の高気圧が次第に本州付近に張り出す。
- 6日：前線が本州南岸に停滞する。一方、中国東北区の高気圧が本州付近に張り出す。
- 7日：前線が日本の南に停滞し、前線上の低気圧が東海道沖を東北東へ進む。また、別の低気圧が日本海にあって東へ進む。
- 8日：低気圧が日本の東を北東へ進む。一方、日本海の高気圧がゆっくり東に移動する。
- 9日：高気圧は千島近海に移動する。一方、朝鮮半島付近の低気圧が北東へ進む。
- 10日：日本海の低気圧からのびる前線が東北地方を通過する。
- 11日：サハリン付近の低気圧から前線が日本の東にのびる。一方、大陸の高気圧は西日本へ張り出す。
- 12日：日本海の高気圧が本州付近へ張り出す。一方、カムチャッカの東の低気圧から前線が日本の東にのびる。
- 13日：千島近海の高気圧が北日本を覆う。
- 14日：千島の東や日本海の高気圧が北日本を覆う。
- 15日：日本海の高気圧はほとんど停滞する。一方、東北地方は気圧の谷となる。
- 16日：千島近海の高気圧が北日本を覆う。
- 17日：オホーツク海の低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過する。
- 18日：大陸の高気圧が本州付近へ張り出す。
- 19日：引き続き、大陸の高気圧が本州付近へ張り出す。
- 20日：黄海付近の高気圧が本州付近へ張り出す。
- 21日：日本付近は関東の東の高気圧に覆われる。
- 22日：千島近海の低気圧から寒冷前線が日本海にのびる。
- 23日：千島近海の低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過する。
- 24日：北日本は気圧の谷となる。
- 25日：日本海の高気圧が本州付近に張り出す。
- 26日：北日本は日本海と千島近海の高気圧に覆われる。
- 27日：東北地方は本州を東に移動する高気圧に覆われる。
- 28日：日本の東の高気圧が東北東へ移動する。一方、日本海は気圧の谷となる。
- 29日：北日本は気圧の谷となる。一方、中国東北区の高気圧が本州付近に張り出す。
- 30日：引き続き、北日本は気圧の谷となる。一方、中国東北区の高気圧が本州付近に張り出す。
- 31日：北日本はオホーツク海の高気圧に覆われる。

3 気象統計値表

○気象官署及び特別地域気象観測所(10月として5位まで記載)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日最高気温の高い方から	℃	盛岡	5	27.2	2022年10月1日	1923年
日最低気温の高い方から	℃	盛岡	5	17.6	2022年10月3日	1923年

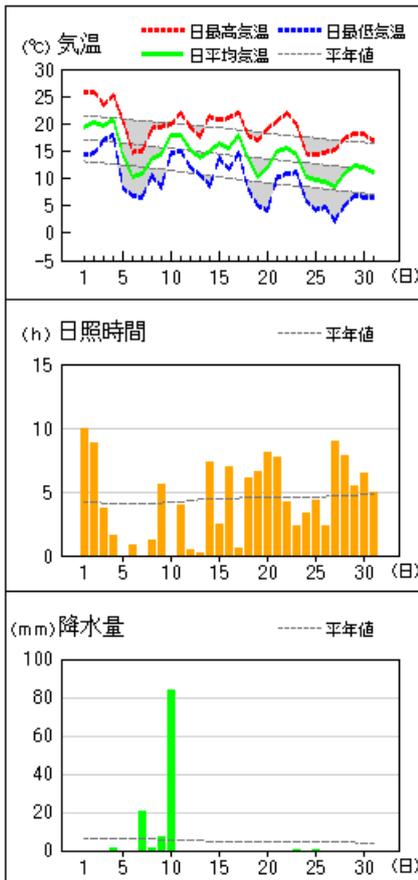
○アメダス(10月として1位更新：統計期間10年以上の要素を記載)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
月降水量の少ない方から	mm	金ヶ崎	1	83.5	2022年10月	2006年
日最低気温の低い方から	℃	区界	1	-6.3	2022年10月27日	1993年
		紫波	1	-2.0	2022年10月27日	1977年
		遠野	1	-3.8	2022年10月27日	1977年

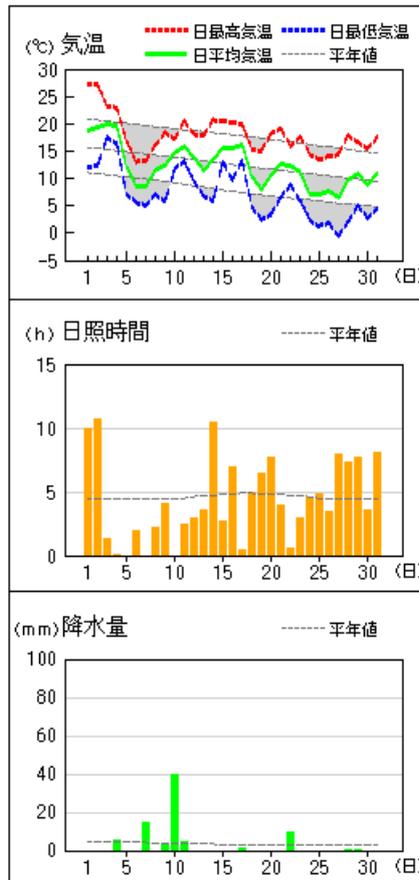
4 気象経過図

アメダス 気象経過図：2022年10月01日-2022年10月31日

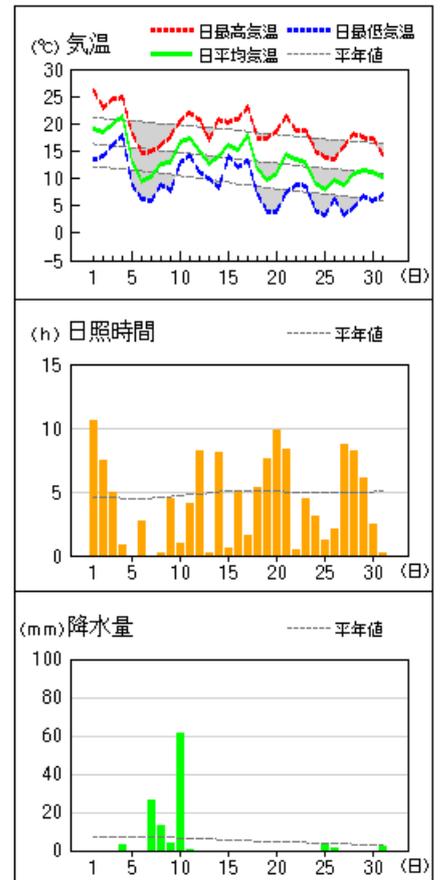
大船渡



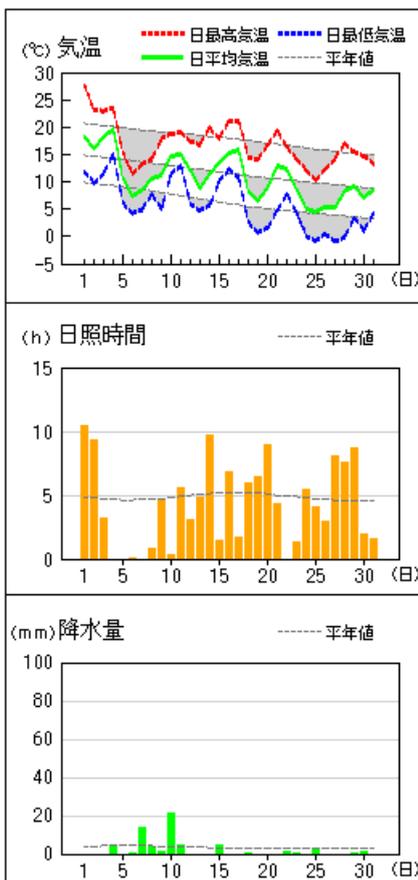
盛岡



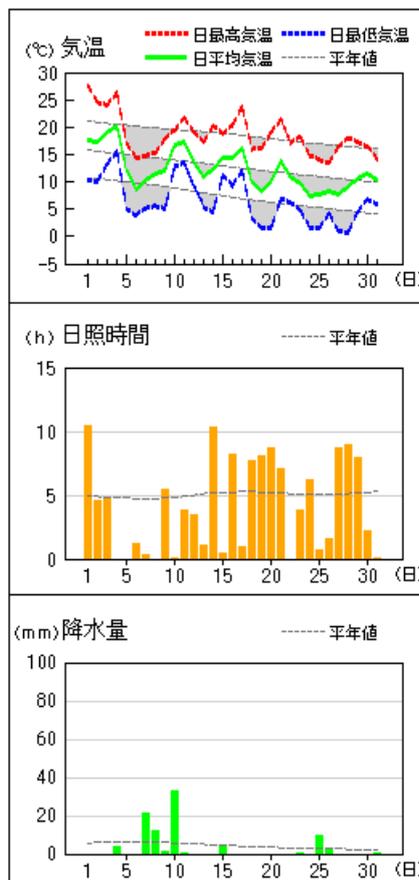
宮古



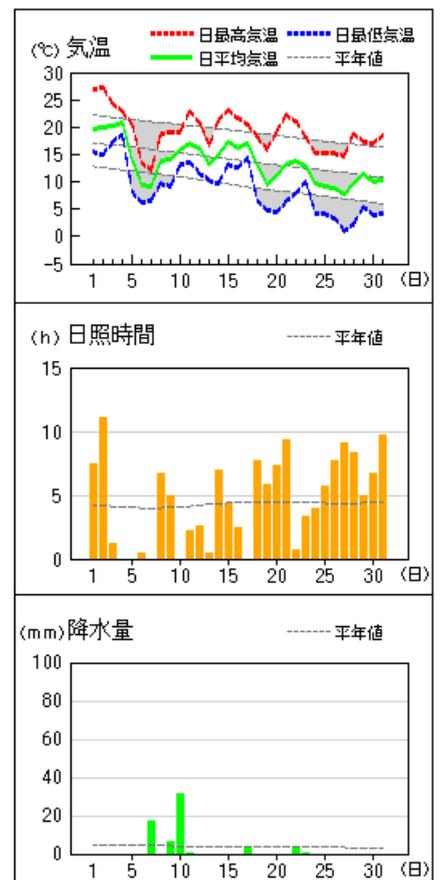
二戸



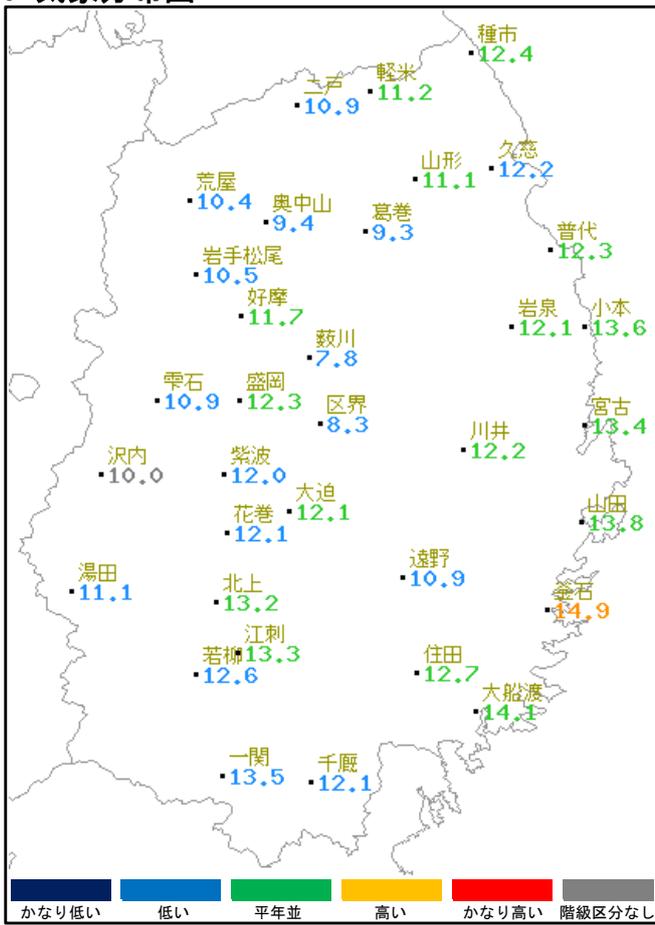
久慈



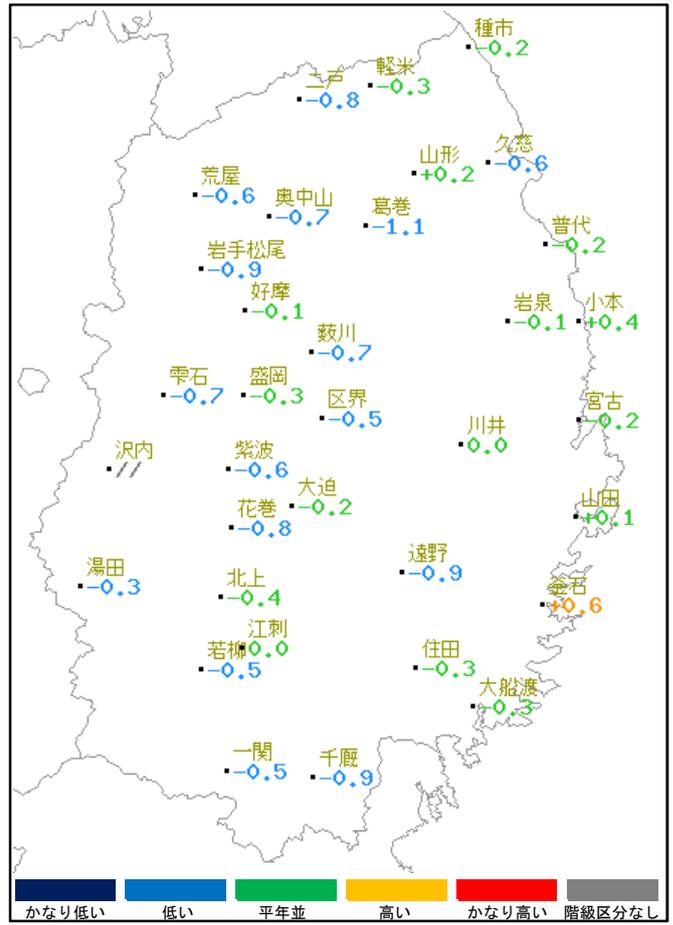
一関



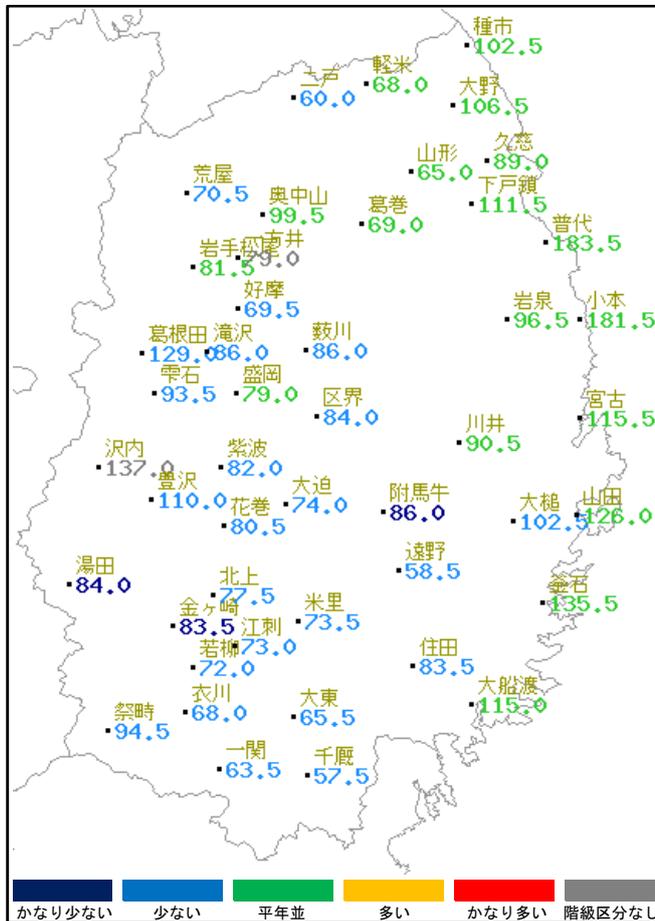
5 気象分布図



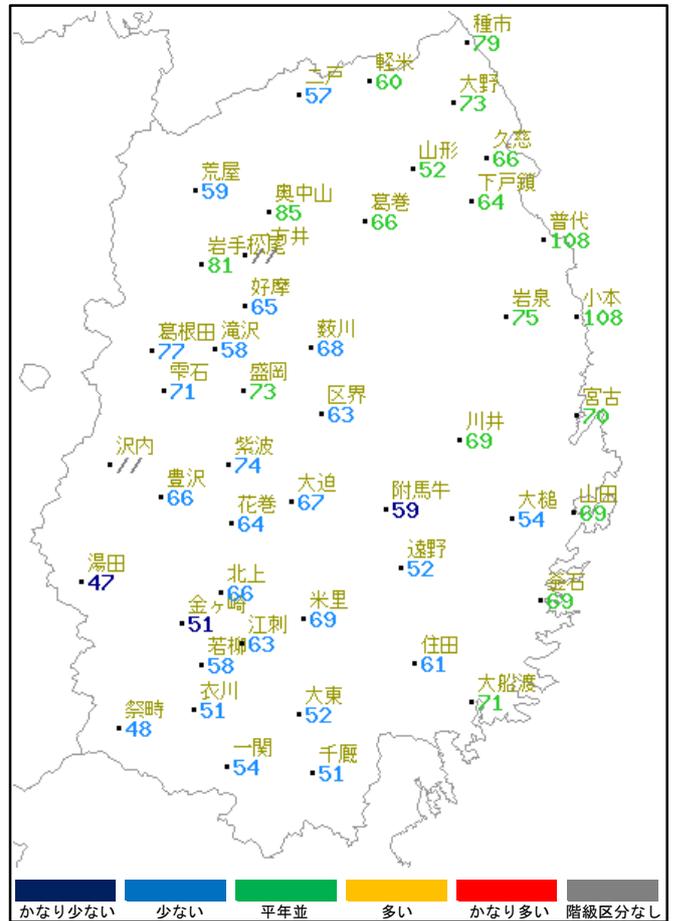
月平均気温実況値(°C)



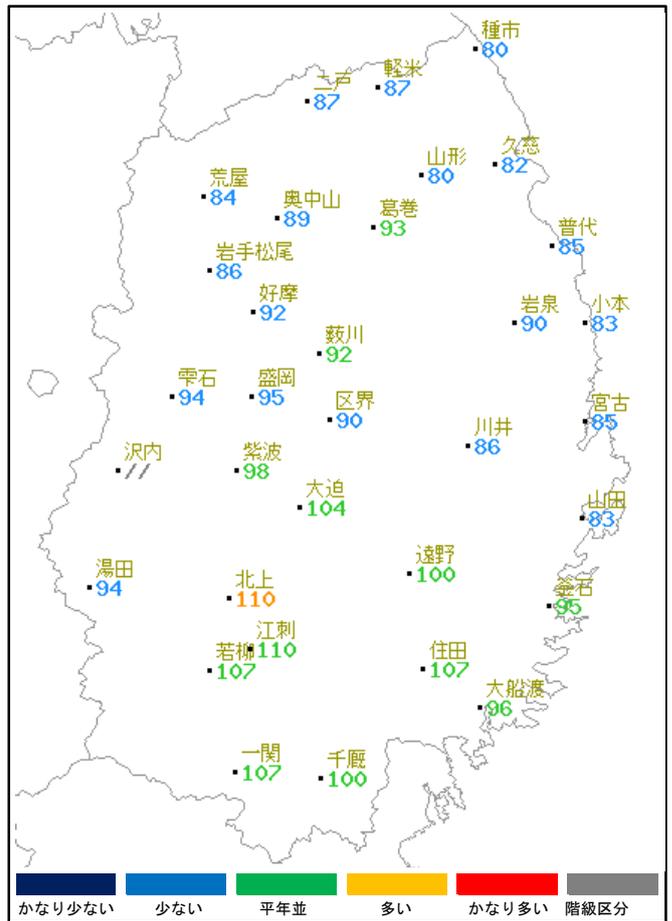
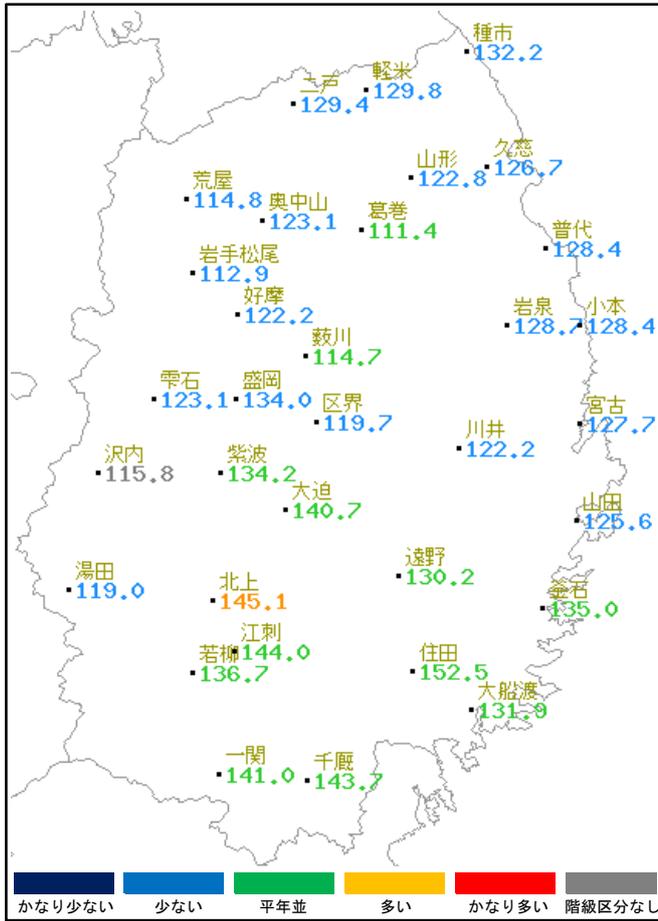
月平均気温平年差(°C)



月降水量実況値(mm)



月降水量平年比(%)



月間日照時間実況値 (h)

月間日照時間平年比 (%)

記号の意味 //: 平年値なし 平年値: 1991~2020年の平均値 (花巻は2003~2020年)

6 その他

○2022年の台風発生数 (2022年11月1日現在)

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2022				2		2	2	5	7	5			23
2021		1		1	1	2	3	4	4	4	1	1	22
平年値	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1

各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(GSV)】

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=030000&term=1month

【注意事項】

2021年3月2日より、盛岡・宮古・大船渡を除く地点の日照計による日照時間の観測を終了し、「推計気象分布(日照時間)」による推計値を日照時間データとしています。これに伴い、平年値も推計値によるものに補正しています。本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、盛岡は気象官署、宮古・大船渡は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所の観測値を使用しています。なお、本資料の著作権は盛岡地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「盛岡地方気象台の資料に拠った」旨記載して下さい。また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

(本資料に関する問い合わせ先)
盛岡地方気象台 電話019(622)7870